

2020年12月期 第1四半期 プレゼンテーション

ルネサス エレクトロニクス株式会社
2020年4月27日

2020年 第1四半期 決算説明資料

経営者が意思決定する際に使用する指標 (以下Non-GAAPベース) を資料上開示しております。
Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値 (GAAP : IFRS基準) から非経常項目や
その他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもので、
当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

注意事項

- **IFRS適用**：今後もグローバルな事業展開を推進していくことを踏まえ、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、2018年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用しております。
- **セグメント開示**：当社グループは、半導体専門メーカーであります。その事業を分類してより適切に経営情報の開示を行うため、2019年12月期第3四半期より「自動車向け事業」および「産業・インフラ・IoT向け事業」を報告セグメントとしてのセグメント別の開示を行っております。
- **費用計上区分の変更**：当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

2020年12月期 第1四半期 決算概要

IFRS、NON-GAAP^{*1*2}

売上収益の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2019年12月期		2020年12月期				
	第1四半期 (1-3月)	第4四半期 (10-12月)	第1四半期 (1-3月) 予想	第1四半期 (1-3月) 実績	前年同期比	前四半期比	予想比 ^{*3} (2/12時点)
売上収益	1,503	1,920	1,750 ~1,830	1,787	+19.0%	-6.9%	-0.1%
売上総利益率	38.1%	45.1%	46.0%	47.3%	+9.2pts	+2.2pts	+1.3pts
営業損益 (率)	71 (4.7%)	314 (16.4%)	269 (15.0%)	337 (18.8%)	+266 (+14.1pts)	+23 (+2.5pts)	+68 (+3.8pts)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	65	214	-	299	+234	+85	-
EBITDA ^{*4}	322	560	-	576	+254	+16	-
1米ドル=	111円	108円	109円	110円	1円 円高	1円 円安	1円 円安
1ユーロ=	126円	119円	121円	121円	5円 円高	2円 円安	0円 円高

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

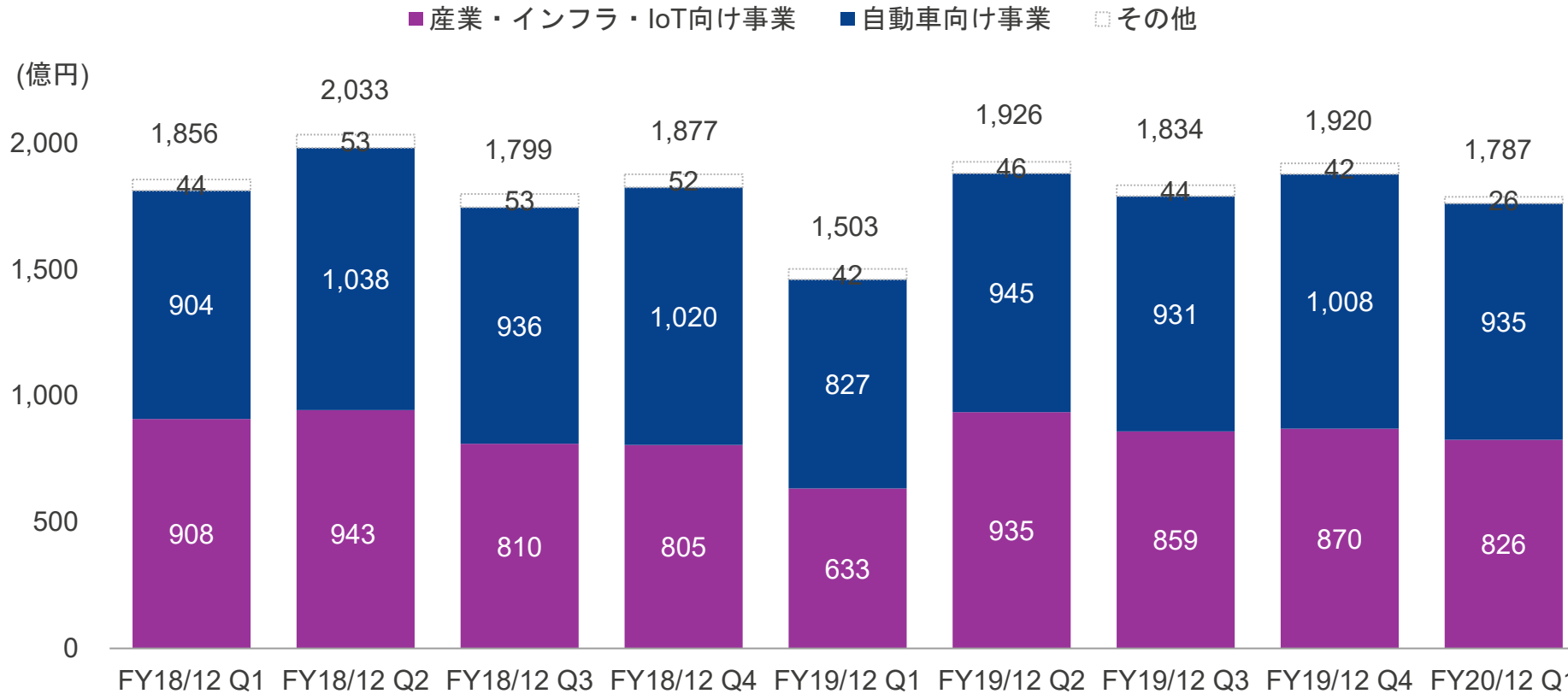
*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

*3: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比

*4: 営業損益+減価償却費及び償却費

売上収益 四半期推移

IFRS、NON-GAAP*1*2



売上収益

YoY: +19.0%
QoQ: -6.9%

自動車向け事業

YoY: +13.1%
QoQ: -7.2%

産業・インフラ・IoT向け事業

YoY: +30.3%
QoQ: -5.1%

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。




2020年12月期 第1四半期 営業利益率

IFRS、NON-GAAP*1*2




2019年12月期 第1四半期 実績 (2019年1-3月)	2019年12月期 第4四半期 実績 (2019年10-12月)	2020年12月期 第1四半期 予想 (2020年1-3月)	2020年12月期 第1四半期 実績 (2020年1-3月)
4.7%	16.4%	15.0%	18.8%

YoY: +14.1pts
QoQ: +2.5pts
予想比: +3.8pts

営業利益率 QoQ +2.5pts

-  為替
-  売上減による利益減
-  費用減

営業利益率 予想比 +3.8pts

-  為替
-  売上減による利益減
-  費用減

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

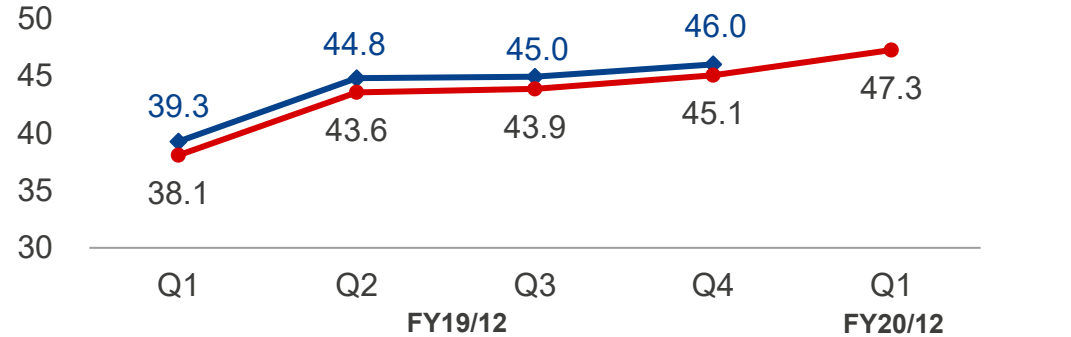
*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

売上総利益率・営業利益率・OPEX推移

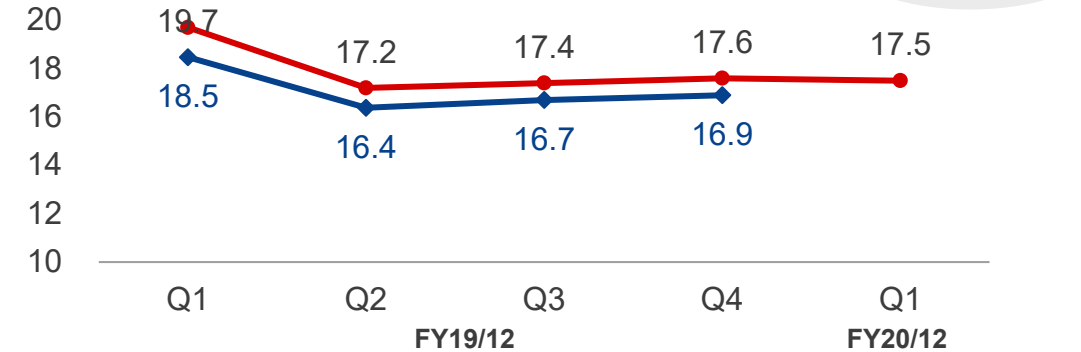
IFRS、NON-GAAP*1*2

費用計上区分変更前
費用計上区分変更後

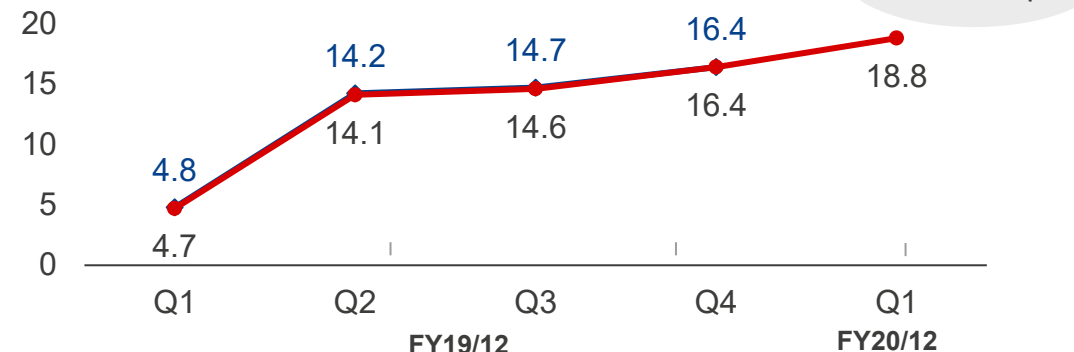
売上総利益率 (%)



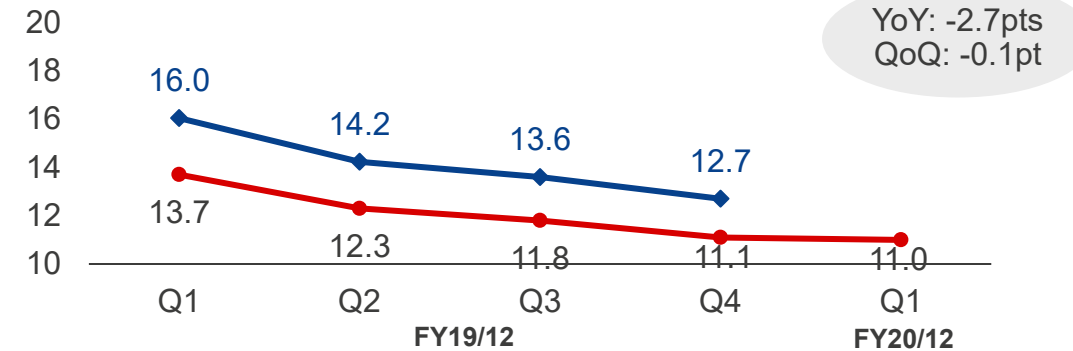
R&D売上比率 (%)



営業利益率 (%)



SG&A・その他売上比率 (%)

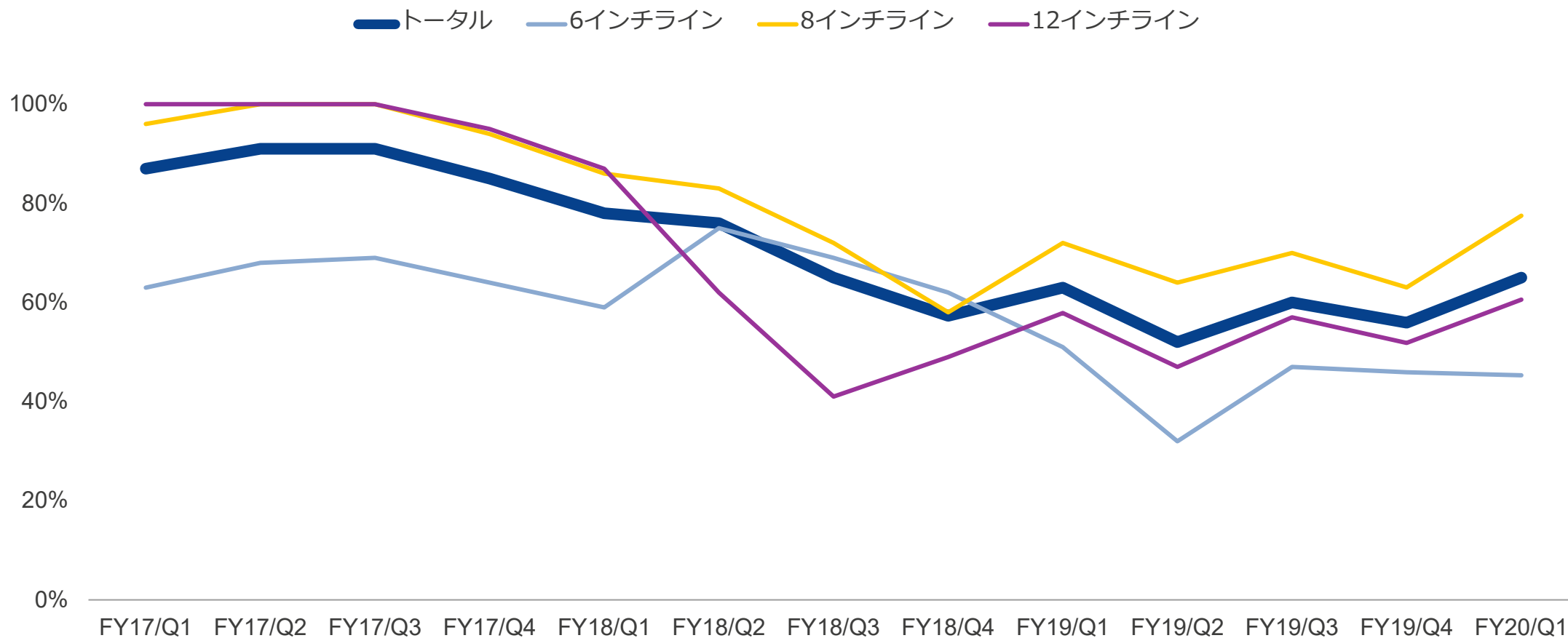


*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

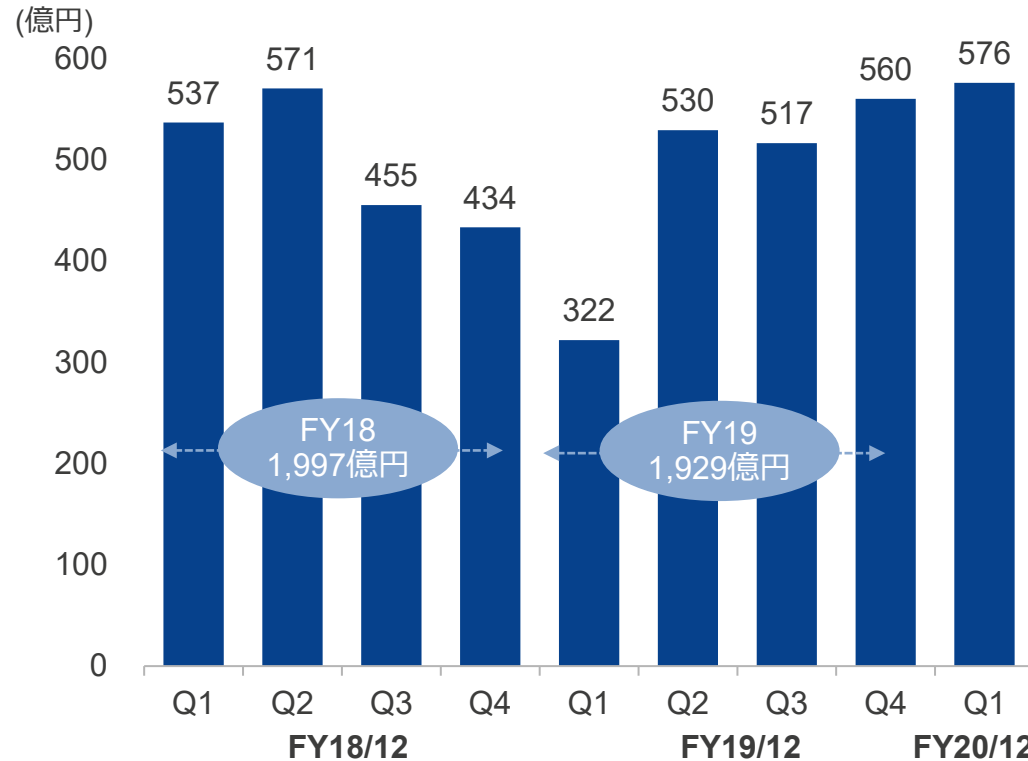
前工程稼働率四半期推移

ウェハ投入量ベース

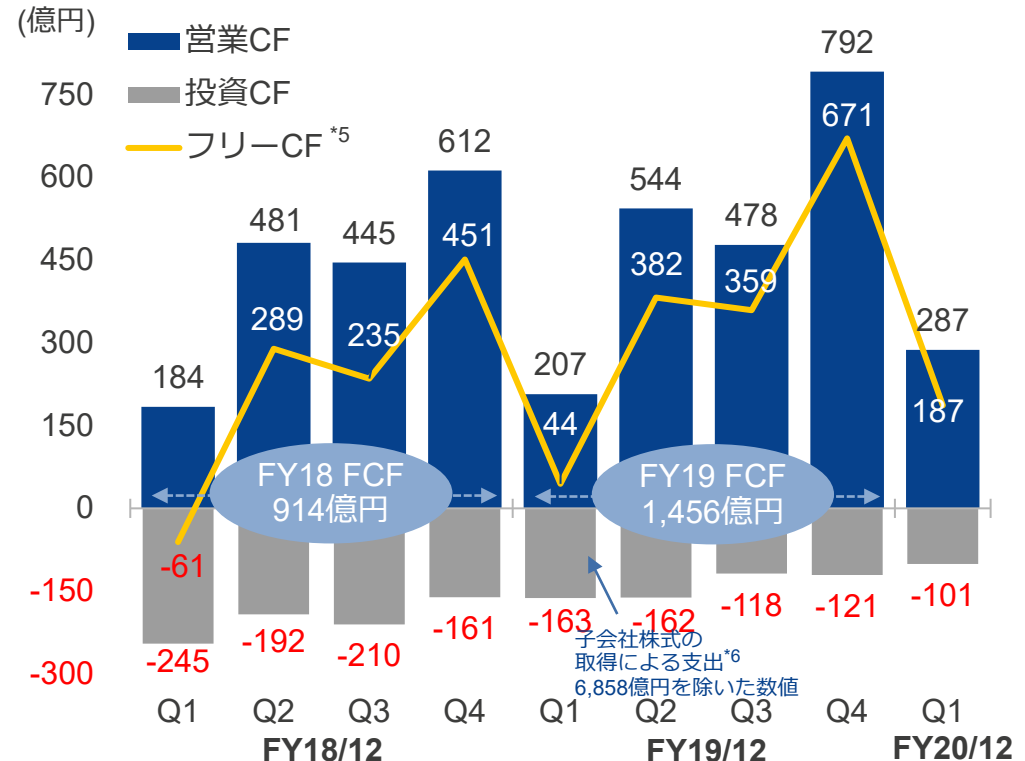


NON-GAAP*1 EBITDA *2*3 およびGAAP*4キャッシュ・フローの状況

Non-GAAP EBITDA



GAAP キャッシュ・フロー



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

*3: 営業利益+減価償却費及び償却費

*4: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

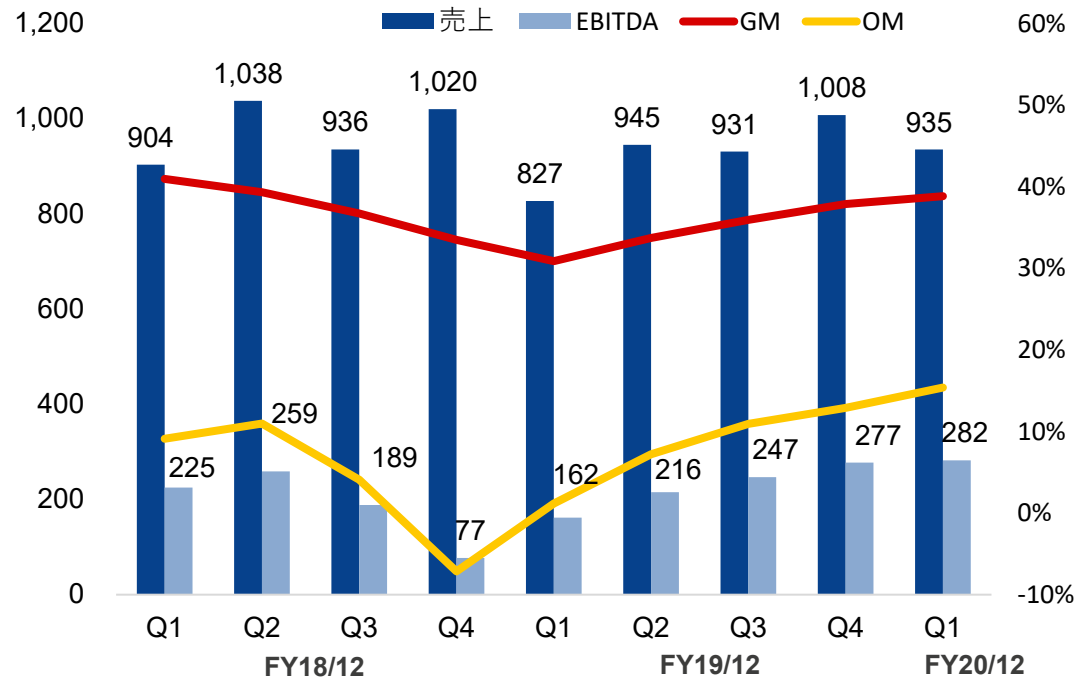
*5: 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー *6: IDT株式の取得にかかる支出

セグメント別の売上収益・利益・EBITDA*1四半期推移

IFRS、NON-GAAP*2*3*4

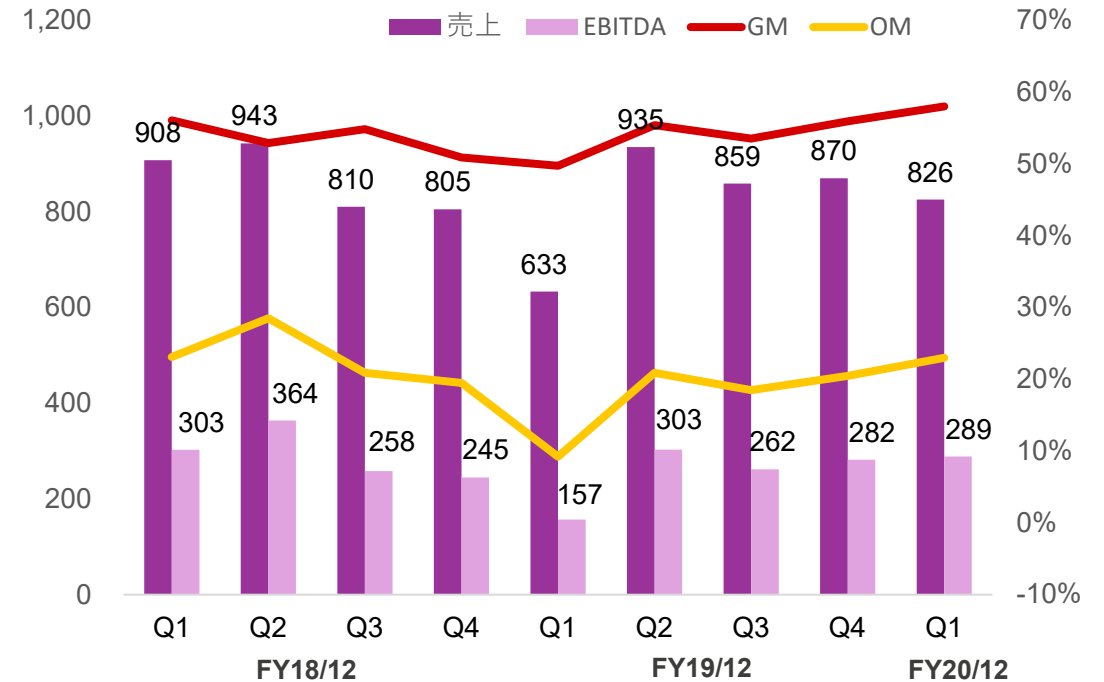
自動車向け事業

(億円)



産業・インフラ・IoT向け事業

(億円)



*1: 営業損益+減価償却費及び償却費

*2: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*3: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象になっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*4: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

2020年12月期 第2四半期 業績予想

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の世界的拡大による当社の事業への影響の見通しは不透明であり、現時点で業績予想の合理的な算定が困難であることから、2020年12月期第2四半期の業績予想につきましては、未定といたします。

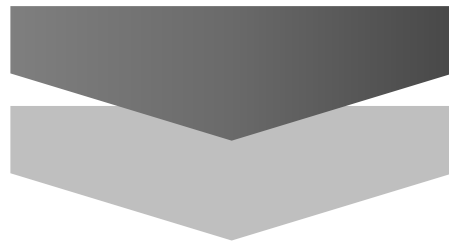
2020年12月期 第2四半期の売上収益の考え方



ベースとなる売上収益：2020年12月期第1四半期対比で約6%の減少を見込む
(為替前提：USD=105円, EUR=115円)



ベースとなる売上収益へのダウンサイドリスク



生産制約：海外工場 (後工程)

顧客需要：キャンセル、プッシュアウト

今後の需要減に備えたコスト・キャッシュ・マネジメント

主な施策内容

今後の需要減に備えて、
前広にコスト・キャッシュ・マネジメン
トに取り組む

COVID-19による未曾有の危機後、
速やかに攻勢に転じるための取組み

- 間接員の一時休業、工場の一時的生産停止
- Opexの削減
- 設備投資の削減、延伸
- 役員報酬の一部カットおよび繰延
- 追加手元流動性の確保

APPENDIX

本パートでは、主にGAAP (IFRS基準) 準拠の財務報告ベースの数値を補足情報として掲載しています。

セグメント別の売上収益および営業利益

NON-GAAP*1*2

(億円)	2019年12月期					2020年12月期		
	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第1四半期 (1-3月)	前年同期比	前四半期比
売上収益	1,503	1,926	1,834	1,920	7,182	1,787	+19.0%	-6.9%
自動車	827	945	931	1,008	3,711	935	+13.1%	-7.2%
産業・インフラ・IoT	633	935	859	870	3,297	826	+30.3%	-5.1%
その他	42	46	44	42	174	26	-37.3%	-37.8%
営業利益 (率)	71 (4.7%)	272 (14.1%)	268 (14.6%)	314 (16.4%)	925 (12.9%)	337 (18.8%)	+266 (+14.1pts)	+23 (+2.5pts)
自動車	10 (1.2%)	68 (7.2%)	102 (10.9%)	130 (12.9%)	310 (8.3%)	144 (15.4%)	+134 (+14.2pts)	+14 (+2.5pts)
産業・インフラ・IoT	58 (9.2%)	196 (20.9%)	159 (18.5%)	178 (20.5%)	591 (17.9%)	190 (23.0%)	+131 (+13.8pts)	+12 (+2.5pts)
その他	3 (6.5%)	3 (6.4%)	8 (18.3%)	-3 (-7.6%)	10 (6.0%)	3 (11.4%)	+0 (+5.0pts)	+6 (+19.1pts)
調整額*3	-	5	-	9	14	-	-	-9

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

*3: 非経常項目やその他の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもののうち、報告セグメントに振り分けております。

GAAP (IFRS) とNON-GAAP間の調整項目

2019年12月期以降

- Non-GAAPベース：Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。
- PPA (取得原価の配分) の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれています。
- 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

(億円)	2019年12月期				2020年12月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
売上収益 (PPA調整後)	1,503	1,926	1,834	1,920	1,787
PPA影響 (売上収益)	-	-	-	-	-
売上収益 (Non-GAAP)	1,503	1,926	1,834	1,920	1,787
売上総利益 (GAAP/PPA後)	554	731	795	867	823
PPA影響 (固定資産償却:COGS ^{*1})	+3	+4	+4	+5	+6
PPA影響 (無形資産償却:COGS)	-	-	-	-	-
PPA影響 (棚卸資産の時価評価: COGS)	-	+113	-	-	-
PPA影響 (その他 : COGS)	-	+2	-	-	-
株式報酬費用 (COGS)	+2	+1	+2	+3	+3
その他調整項目 ^{*2} (COGS)	+13	-5	+2	-11	+13
その他非経常項目 ^{*3} (COGS)	-	-8	+0	-	-
売上総利益 (Non-GAAP)	572	839	804	865	845
売上総利益率 (Non-GAAP) (%)	38.1%	43.6%	43.9%	45.1%	47.3%

*1: 売上原価 *2: 期間費用を平準化するための調整項目 (税金等) が含まれております。 *3: 一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

GAAP (IFRS) とNON-GAAP*1 間の調整項目

2019年12月期以降*2

(億円)	2019年12月期				2020年12月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
営業利益 (GAAP/PPA後)	-14	-109	81	104	133
売上総利益段階までの調整項目	+19	+108	+9	-2	+22
PPA影響*3 (無形資産償却 : SG & A*4)	+38	+142	+138	+139	+142
PPA影響 (固定資産償却 : R&D*5)	+1	+0	+0	+1	+1
PPA影響 (固定資産償却 : SG & A)	+0	+0	+0	+0	+0
PPA影響 (その他 : R&D)	-	+1	-	-	-
PPA影響 (その他 : SG & A、その他の費用)	-	+1	-	-	-
株式報酬費用 (R&D)	+4	+12	+17	+20	+19
株式報酬費用 (SG&A)	+10	+15	+17	+16	+17
その他の調整項目*6 (R&D)	+1	-0	-0	-0	+1
その他の調整項目 (SG&A)	-7	-9	-2	+18	-4
その他非経常項目*7 (R&D)	-	-8	+0	-	-
その他非経常項目 (SG&A、他)	+20	+119	+9	+18	+6
営業利益 (Non-GAAP)	71	272	268	314	337
営業利益率 (Non-GAAP) (%)	4.7%	14.1%	14.6%	16.4%	18.8%

*1 : Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2 : 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

*3 : PPA (取得原価の配分) の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。

*4 : 販売費及び一般管理費 *5 : 研究開発費

*6 : 期間費用を平準化するための調整項目 (税金等) が含まれております。 *7 : 買収関連費用や株式売出し費用など、一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

GAAP (IFRS) とNON-GAAP*1 間の調整項目

2019年12月期以降*2

(億円)	2019年12月期				2020年12月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
親会社の所有者に帰属する当期利益 (GAAP/PPA*3後)	-19	-91	40	7	113
営業利益段階までの調整項目	+85	+380	+188	+210	+204
当期利益調整項目 (Non-GAAP調整による税効果影響等)	-	-33	-5	-2	-17
親会社の所有者に帰属する当期利益 (Non-GAAP)	65	256	224	214	299
Non-GAAP EPS*4 (円)	3.9	15.1	13.1	12.5	17.5

*1 : Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2 : 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

*3 : PPA (取得原価の配分) の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。

*4 : 基本的一株当たり四半期利益

2020年12月期 第1四半期 決算概要

GAAP (IFRS)*1

売上収益の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2019年12月期		2020年12月期		
	第1四半期 (1-3月)	第4四半期 (10-12月)	第1四半期 (1-3月) 実績	前年同期比	前四半期比
売上収益	1,503	1,920	1,787	+19.0%	-6.9%
売上総利益率	36.9%	45.2%	46.0%	+9.2pts	+0.9pt
営業損益 (率)	-14 (-0.9%)	104 (5.4%)	133 (7.4%)	+147 (+8.4pts)	+29 (+2.0pts)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-19	7	113	+132	+106
EBITDA*2	279	496	521	+242	+25
1米ドル=	111円	108円	110円	1円 円高	1円 円安
1ユーロ=	126円	119円	121円	5円 円高	2円 円安

*1: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

*2: 営業利益+減価償却費及び償却費

バランスシートの状況

GAAP (IFRS)*1

(億円)	2019年 3月末	2019年 6月末	2019年 9月末	2019年 12月末	2020年 3月末
総資産	18,767	16,979	16,663	16,681	16,578
うち 現金及び現金同等物*2	1,967	1,165	1,243	1,465	1,369
うち たな卸資産	1,297*7 (IDT連結前1,109)	1,008	955	908	957
うち のれん	6,332	6,149	6,157	6,250	6,209
うち 無形資産	4,780	4,458	4,277	4,146	4,303
負債合計	12,375	11,054	10,681	10,437	10,305
うち 有利子負債*3	9,653	8,527	8,288	7,859	7,642
資本合計	6,391	5,924	5,982	6,244	6,273
D/Eレシオ (グロス)*4	1.52	1.45	1.39	1.26	1.22
D/Eレシオ (ネット)*5	1.21	1.25	1.18	1.03	1.00
自己資本*6比率	33.9%	34.7%	35.7%	37.3%	37.7%

*1:当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については、遡及適用後の要約四半期連結財務諸表となっております。

*2: 手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資から構成されております。

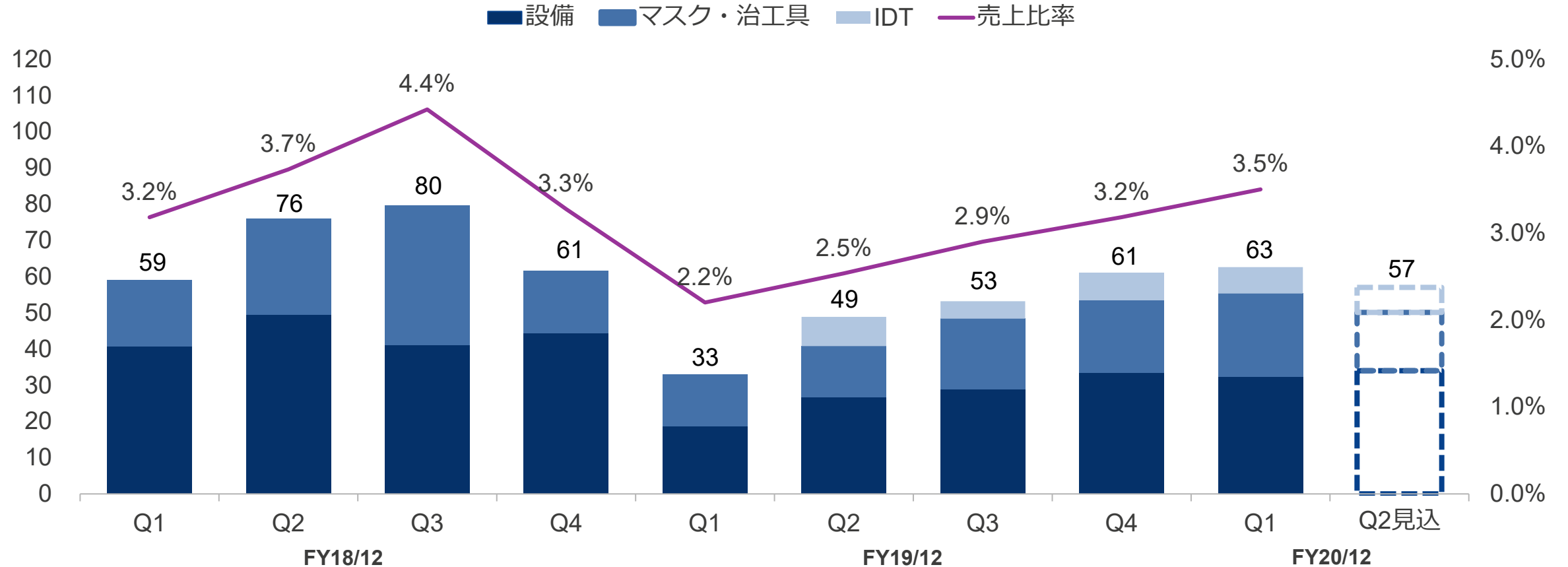
*3: 借入金(流動負債)+借入金(非流動負債)+リース債務(流動負債)+リース債務(非流動負債)+社債の合計

*4: 有利子負債/自己資本 *5: (有利子負債-現金及び現金同等物)/自己資本 *6: 自己資本(親会社の所有者に帰属する持分合計)/負債及び資本合計

*7: IDT連結前のルネサスの棚卸資産1,109億円+IDTの棚卸資産75億円+PPA (IDTの買収にかかる取得原価の配分) 影響 (IDTの棚卸資産を公正価値評価) 113億円

設備投資額の状況*1*2*3

(億円)



*1: 有形固定資産および無形資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません。

*2: 2020年12月期第1四半期より、IDT投資分およびマスク・治工具固定資産を含めた投資金額を表記しております。

*3: 過年度分についても上記定義に揃えた金額を表記しております。但し、IDT投資分は設備納入ベースの金額としております。

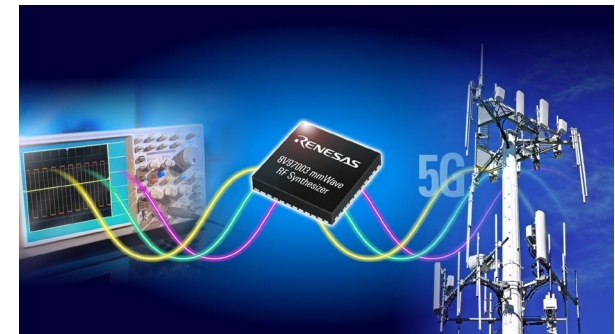
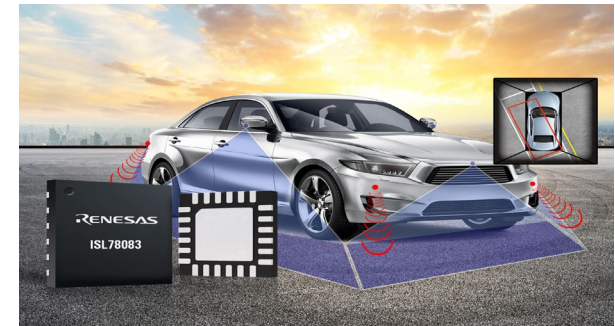
2020年12月期第1四半期の主な広報発表

新製品・ソリューション関連の発表

- オープンソースの設計仕様に基づいた人工呼吸器を効率的に短期間で設計できるようリファレンスデザインを公開
- 非接触でありながら正確な体温を測定できる赤外線タイプの非接触型電子体温計ソリューションを提案
- 車載サラウンドビューカメラシステムの電源設計をシンプルにするパワーマネジメントICを発売
- 5Gやブロードバンド無線用途に向け、業界最高クラスの性能を誇る広帯域ミリ波センササイザを発売

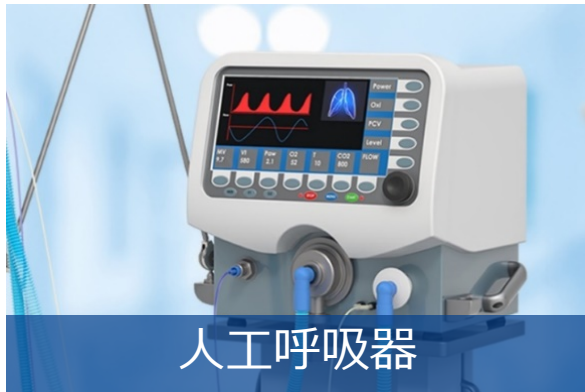
主な採用および協業関連の発表

- 高効率パワーマネジメントIC、Google Coral AI製品に採用
- REファミリが、心拍計とGPS機能を搭載した“G-SHOCK”のメインコントローラに採用
- パントロニクスとワイヤレス給電およびコネクテッドIoTソリューションで協業
- 3dbアクセス社とセキュアなUWBソリューションで協業
- 電力線通信 (PLC) 用IC、パナソニックの照明制御システムに採用
- ガスセンサ、サフェラ社のスマートクッキングセンサに採用



新型コロナウイルス対策へのルネサスの貢献

ルネサスの製品やソリューションは、私たちの生命を脅かす新型コロナウイルスと戦うための重要な機器で使用されています。



オープンソースの設計仕様に基いた人工呼吸器を、効率的に短期間で設計できるようリファレンスデザインを公開しています。



医療分野向けパルス酸素濃度系ソリューションを提案しています。肺炎患者の肺の機能を監視することができるため、新型コロナウイルスの医療現場で活躍しています。



非接触でありながら正確な体温を測定できる電子体温計にも、赤外線タイプの非接触型電子体温計ソリューションを提案しており、需要の拡大に応じています。



ルネサスのセンサ信号コンディショナは、酸素吸入器や人工呼吸器などを開発するため、多くの企業で使用されています。

Renesas.com

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1) ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2) 市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4) 為替レート (特に米ドルと円との為替レート) の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。